

★★★清野理事長大いに語る★★★

当「NPO 法人温故創新の会」の清野茂次理事長（写真の左側）は、土木学会が平成19年11月13日（火）に同講堂（四ッ谷）で開催した「コンサルタント委員会第20回シンポジウム」における第二幕の対談で大いに語った。



このシンポジウムは、団塊世代を主たる対象に、NPO 活動全般について参加者の具体的な理解を深めることを目的に開催された。参加者は、「Dovolunts」と印字されたカラフルなTシャツを着用した熱気溢れる雰囲気の中、積極的な姿勢で参加していた。

清野理事長は、第二幕で「エンジニアリング・デザインがボランティアを先駆ける」をテーマにした米田雅子慶応大学理工学部教授（写真の右側）との対談形式で会を盛り上げた。

その冒頭で「温故創新の会」の設立趣旨と活動概要を説明し、「社会奉仕」「技術継承」「地域づくり」「教育」「キャリア活用」などの切り口に対し、幼少時代の夢、土木技術者としての理念、コンサルタントとしての実践などを随所におり混ぜ紹介すると共に後継者に啓発を促した。軽妙なタッチで対談や会場とやりとりし、参加者の盛大な拍手を以て閉幕した。

